

http://www

全国 R・J グレード部会情報誌

か し め

16号 2019年4月1日

1 第 16 回 総 会 の
開 催 に つ い て

1) 松 枝 会 長 の
挨 拶

2) 総 会 の 議 案

3) 栗 原 千 葉 県
理 事 長 の 挨 拶

発行：全国 R・J グレード部会連絡会

発行責任者：松枝 建次

事務局 東京鉄構工業協同組合

住所：東京都中央区八丁堀 3-9-5

電話：03(5566)1595 FAX:03(5566)1597 E-mail:jimukyoku@tsfa.jp

千葉市で第 16 回全国 R・J 総会を開催

第 16 回全国 R・J グレード連絡会総会は 3 月 8 日（金）千葉市で開催されました。

総会には栃木県、群馬県、千葉県、東京都、神奈川県、静岡県、山梨県、三重県、京都府、大阪府から 40 名を超える会員が参加して行われました。



挨拶する 松枝建次会長

情報誌「かしめ」は
全国 R・J グレード部
会連絡協議会の情報
誌です。会員と全国の
組合事務局にメール
発信しています。記事
の投稿をお待ちして
います。事務局は東京
鉄構工業協同組合で
す

こんにちは。千葉県によろこそ。会長の松枝です。私は会長 5 期 10 年目です。総会も今度で 16 回目の開催です。適正なグレード指定、R・J グレードの社会的地位の向上実現を活動の中心に行ってきました。

今私たちの業界では最も困っているのはボルトの入手が大変困難なことです。特に R・J グレードは何か月前から発注するわけではありませので今大変に困っています。私たち全国 R 委員に・J グレード部会

は昨年9月28日に全構協会長に要請書を提出いたしました。昨年の夏ごろからボルトがないと困っていましたから直ちに全構協に対してボルトメーカーにこの状況を改善するよう要請してほしいとお願いをしました。このように直ちに行動がとれるのが全国R・Jグレード部会の得意技ではないかと思っています。

それから全構協から適正な発注を行うように会員に文書を発したのは11月の終わりです。私たち全国R・Jグレード部会は自分だけ良くなればよいと考えているのではなく業界全体の発展を考えて行動しています。共存共栄することが大事であると考えています。

今日の総会の後懇親会も行われます。皆さんで情報交換を十分に行っていただきたいと思います。本日は多忙な中総会に参加していただき大変ありがとうございました。



全国から多くの仲間が参加しました。

総会ではすべての議案が承認されました。

第1号議案 平成30年度事業報告及び収支報告書承認の件
監査報告

第2号議案 2019年度事業計画及び収支予算決定の件
2019年度事業計画(案)

1 第16回 通常総会

期日 2019年3月8日(金)

場所 千葉市 バーディーホテル千葉 会議室

2 役員会

年4回開催する(3月、6月、月、12月)

1) 第1回幹事会 3月8日(金) バーディーホテル千葉 会議室

第2回幹事会	6月 7日 (金)	東京組合会議室
第3回幹事会	月 日 ()	三重県 (詳細は未定) 工場見学会
第4回幹事会	12月 日 ()	東京組合会議室

3 工場見学会

先進的な同業の工場や異業種の工場の品質の高い製品を生産する現場から多くを学ぶために工場見学会を行う。

三重県のジャパンマリンユナイテッド津事業所 予定

4 重点事業

- (1) 全国各県の鉄構組合におけるR・Jグレード部会の設立働きかけを引き続き推進する
- (2) すでにR・Jグレード部会が存在する県に対して参加の働きかけを行う
- (3) 全構協に対してR・Jグレードの意見反映をできる機会を設けるよう働きかける。
- (4) 会員拡大、親睦のための情報交換会の開催する
- (5) 近隣各県のR・Jグレード部会の交流と情報交換を推進する
- (6) 行政、構造設計者に対するR・Jグレード指定に対するPR活動を推進する
- (7) 年2回(3月9月)山積み、受注価格等の調査を実施する
- (8) 先進工場の見学会の実施する
- (9) 全国R・Jグレード部会情報誌「かしめ」の充実と引き続きの発行を行い全国の会員にメールで発信する



来賓祝辞する千葉県鉄骨工業会理事長 栗原 宏 様

千葉県鉄骨工業会理事長の栗原です。本日は千葉市で開催される全国R・Jグレード部会の総会に全国各地からこの千葉市にお越しいただき大変ご苦労様です。松枝

会長からぜひ千葉市で開催してほしいと要請を受けましたので段取りをさせていただきました。総会が無事に終わりおめでとうございます。

私はこの会の設立当初から参加し活動をさせていただきました。本日はこのような立場で皆様をお迎え出来て大変にうれしく思っています。松枝会長は4代目の会長として情報誌「かしめ」を発行したり、異業種の工場見学会を実施したりアイデアある活動を行ってこの会を盛り立てていただいていることをずっと外から見ていてうれしく思っていました。

ボルトの件でいち早く全構協に対して要請書を提出された報告がありましたが、溶接管理者の兼務問題の時も全構協米森会長に対してR・Jグレードの会員の意見をしっかり伝え兼務を認めさせました。このように全国R・Jグレードの皆さんは意見を言う場があるということは素晴らしいことだと思います。

今回16回の総会ですが、16年前、千葉県の柏市で全国各地のR・Jグレードの有志が集まってR・Jグレードの地位向上のために何を行動すべきか意見を出し合った。そのことが全国R・Jグレード部会連絡協議会の設立につながっていきました。

第16回総会が記念すべき会が開催された千葉県で行われたことは大変感慨深いものがあります。この会が今後もますます発展していくことを願っています。

東構塾塾長青野 弘毅氏の講演会を開催

総会に先立って「鉄骨不具合事例から学ぶ」をテーマとして東構塾塾長青野 弘毅氏講演会が行われました。実際の不具合事例の写真を示しながらその対策をわかりやすく説明されました。その報告は次回の「かしめ」で特集をします。

山積み、受注単価等調査について

全国R・Jグレード部会では年に2回3月と9月に山積み、鋼材単価、副資材価格工種別価格の調査を会員の皆様に協力していただき実施しています。その集計の結果は参加している各県にお返しをしています。全国R・Jグレード部会の会員でない県の皆様の中でこの調査に協力していただける県がありましたら事務局に申し出てください。

編集後記

平成～令和と元号が変わります。この「かしめ」16号は平成最後の号となりました。年に4回程度の発行を目指していましたが残念ながら年2回程度の発行となりました。この情報誌の役割は全構協の中でR・Jグレードの会員の存在を積極的にアピールすることです。千葉県の栗原理事長が挨拶の中でお話しているように自分たちの意見を自由に言える場があることは素晴らしいことだと。「かしめ」はその意見や意思を外部に発信する役割を負っている情報誌です。もっと活用していただきたいと思います。

文責 事務局 加藤哲夫